

「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」
を目指す掛川市の地方創生事業を応援していただける企業様を募集
しています。

— 掛川市が行う地方創生に向けた取組 —

取組① 「松ヶ岡修復活用事業」

松ヶ岡（旧山崎家住宅）は、安政3年（1856年）に山崎家の住宅として建てられ、明治11年（1878年）には明治天皇が宿泊されたという歴史を持つ貴重な文化財です。

掛川市では、この松ヶ岡を修復して後世に永く伝え、人づくりの場、教養を学ぶ場として活用していきます。

日々の保全活動には、市民ボランティアにも大きな協力をいただいています。

日本で初めて「教養」という言葉が使われたまち掛川で、松ヶ岡の保存活用に協働していただける企業様をお待ちしております。

2021年度事業費： 106,716千円
寄附可能上限額： 53,358千円



松ヶ岡長屋門

取組② 「掛川潮騒の杜事業」

当市では、南海トラフ巨大地震により想定される最大クラス（レベル2）の津波により浸水被害が想定されていることから、“地震・津波による死亡者ゼロ”を目指し、レベル2津波に対応した高さに防潮堤を嵩上げし、クロマツや広葉樹を植樹する海岸防災林強化事業「掛川モデル」を、平成26年度より着手しました。

盛り土や植樹などの工事から維持管理までを、市民・企業との協働と、国や県などの事業との連携、協力により行い、次世代を担う若者や子どもたちが集う「掛川潮騒の杜」づくりを推進しています。

2021年度事業費： 508,535千円
寄附可能上限額： 508,535千円



弁財天川東のイメージ図